

経営体の概要

- ・所在地：広島県三次市
- ・経営体名：農事組合法人三良坂ピオーネ生産組合
- ・栽培作物・作付面積：8.5ha（露地5.2ha）
- ・従業員数：約30名（令和6年4月現在）

導入技術

- ・ロボット草刈り機 KRONOS（和同(株)製）

ほ場の周囲にエリアワイヤーを設置し、エリア内をランダムに自動走行しながら除草を行うモア。



ロボモアで除草中のほ場の様子



自動で充電ステーションへ

導入経緯

- 当法人では、露地ぶどうの除草剤の調整散布に年間約50時間を要しており、省力化が課題であった。
- 令和5年にロボット草刈り機を露地ほ場の一部に導入した。

取組の特徴・効果

- 令和5年度末から、ぶどう棚の支柱などがロボット草刈り機の走行に与える影響や除草効果の確認も含め、約10aのぶどう苗育成中のほ場に設置し活用を開始した。

【導入効果】

約10時間/ha・年→約6時間/ha・年

- 刈刃の交換等は必要だが、夜間のみ除草作業を行い、自動で充電ステーションに戻るため、日中の作業に支障なく除草時間を削減できている。ぶどう棚支柱周辺は走行が困難なため、支柱の内側にエリアを設置した。
- 除草作業前のほ場巡回が不要になり、果実の管理に集中できている。また、草を短く維持できるため、草の種子ができる前に刈り取りができている。
- 今後は、ロボット草刈り機を効果的に使用するとともに、追加導入を検討されている。